

地域医療支援病院業務報告要旨

I 概要

病院名	フリガナ	コウエイサ イタンホジシキ サキハ ラキネサ イタン フゾク サキハ ラキネビョウイン
		公益財団法人 榊原記念財団 附属 榊原記念病院
所在地		東京都府中市朝日町3-16-1
管理者氏名		矢崎 義雄
承認年月日		平成18年5月9日
業務報告書提出日		令和6年9月30日

II 業務報告

対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日	
------	--------------------	--

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	紹介率65%以上、かつ逆紹介率40%以上	
紹介率	$\text{①} / (\text{②} - (\text{③} + \text{④} + \text{⑤}))$	79.9 %
※患者数は延べ人数	①紹介患者数	5,850 人
	②初診患者数	8,372 人
	③地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数 (初診に限る)	825 人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数 (初診に限る)	221 人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数 (初診に限る)	0 人
逆紹介率	$\text{⑦} / \text{②} - (\text{③} + \text{④} + \text{⑤})$	172.8 %
※患者数は延べ人数	⑦逆紹介患者数	12,662 人

2 共同利用の実績

共同診療件数	0 件
高額医療機器共同利用件数	210 件
共同利用病床数	4 床
共同利用病床利用率	0.0 %
共同利用施設・設備	全ての診療設備を対象としている
登録医療機関数	182 件

3 救急医療の提供の実績 【(1)又は(2)のどちらかを選択すること】

(1) 救急患者数

救急搬送による救急患者数	1,754 (844)
救急搬送以外の救急患者数	2,974 (468)
合計(うち初診患者数)	4,728 (1,312)

※括弧内は、初診救急患者数

(2) 救急医療圏(2次医療圏)人口における救急搬送患者数割合

A:救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	人
B:救急医療圏(2次医療圏)人口※	人
C:A/B×1000>2	(少数点第1位まで記入)

※2次医療圏人口に関しては総務省統計局により実施された直近の国勢調査の人口(該当2次医療圏における区市町村人口の総和)を用いること。

(3) 救急用又は患者輸送用自動車所持台数

救急用又は患者輸送用自動車	2台
---------------	----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

研修の内容	①神明台循環器疾患連絡協議会 2023/6/20 ○MRIとデバイスの安全性 ○心疾患患者に手軽に運動処方をする方法 2023/9/12 ○東京都心不全サポート事業につきまして ○早期再分極性症候群 狭義のJ波症候群 早期再分極心電図所見にどう対応するか 2023/12/19 ○低侵襲心臓手術Now ○心臓外科術後の抗血小板薬・抗凝固薬の要点 2024/3/12 ○内科外来で遭遇する先天性心疾患と学校検診の心電図 ②神明台ハートセミナー 2023/4/21 ○総合病院での精神症状への対応～せん妄の基礎と実践～ 2023/5/19 ○高齢者心不全患者の治療戦略～漢方を活用した症状管理～ 2023/6/16 ○虚血性心疾患の救命再発予防にできること-脂質管理を含めたチーム医療 2023/7/21 ○実地医家における高血圧管理の重要性 2023/9/15 ○日常診療に潜むファブリー病-心ファブリー病に遭遇して30年- 2023/10/20 ○HFpEFこそ運動療法 2023/11/17 ○慢性心不全進行阻止を考えた高血圧治療～ARNIの心腎連関から考える臨床的意義～ 2024/2/16 ○尿酸コントロールと腎保護～SURIへの期待～ 2024/3/15 ○ACSに対する脂質低下療法～榊原スタイル～ ○虚血性心疾患の治療戦略-脂質異常症への新たな挑戦-	
	地域の医療従事者への実施回数	13回
合計研修者数	※院外からの延べ参加人数	38+α 人
研修体制	研修プログラムの有無	有・無
	研修委員会の設置の有無	有・無
	研修指導者数	70人
研修施設		榊原ホール

5 診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者	監理部長	
管理担当者	医事課長	
診療に関する諸記録の保管場所	中央病歴管理室	
病院の管理及び運営に関する諸記録の保管場所	共同利用の実績	医療連携室、核医学検査室
	救急医療の提供の実績	医事課、医療情報室
	地域医療従事者向け研修の実績	医療連携室、医療情報室
	閲覧実績	医事課、医療安全管理室
	紹介患者に対する関係帳簿	医療連携室

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	医療安全管理室長		
閲覧担当者	医療安全管理室事務局		
閲覧に応じる場所	面談室など		
前年度の総閲覧件数			12 件
閲覧者別延べ件数	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	0 件
		歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件	
	その他	12 件	

7 委員会の開催実績

委員会の開催回数	3 回		
委員会の概要	<p>第1回 日時：2023年8月 方法：書面開催 概要：令和4年度 委員会 委員就任の確認。</p>		
	<p>第2回 日時：2023年11月 方法：書面開催 概要：令和4年度 診療科ごとの診療紹介、診療実績等の報告。</p>		
	<p>第3回 日時：2023年11月 方法：集合・WEB開催 概要：地域医療支援病院としての報告。2023年度計画について</p>		
	<p>原則年4回開催であるが、電子カルテ更新等の影響あり開催のタイミング合わず、次年度開催にやむを得ず持ち越した。</p>		

8 患者相談の実績

相談を行う場所	相談室	電話相談
主たる相談対応者	外来看護師	セーフティマネジャー
相談件数	3,053 件	
相談の概要	<p>《主な相談内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 健康維持や疾病に関すること ○ 職員の対応に関すること ○ 治療内容に関すること（セカンドオピニオン含む） ○ 医療上のトラブル ○ 診療報酬に関すること ○ 医療法等に関すること ○ 医療機関の紹介に関すること ○ 薬に関すること ○ 要望や提言 ○ カルテ開示に関すること ○ 救急受診に関すること <p>《主な対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 対応について医師と相談した。 ○ 看護師の立場で対応し、指導した。 ○ 担当責任者に報告・相談し、対応した。 ○ 医事課、薬剤科など担当部門が対応した。 <p>2022年度は、看護師による電話相談により相談件数が増加した。</p>	

9 地域医療支援病院に求められるその他の取組 （任意）

(1) 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
評価を行った機関名、評価を受けた時期	

注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

(2) 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<p>情報発信の方法、内容等の概要</p>	<p style="text-align: center;">有・無</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 榊原記念病院 心臓病総合支援センターの取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 循環器専門病院として、地域医療機関へ情報提供、講演会、執筆。 ・ 患者相談窓口。 ○ 心臓を守るお薬教室 (5月27日) <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象：一般市民 (会場+web 計36名) ・ 内容：講義 ○ 市民公開講座：肥大型心筋症を知ってもらおう (7月1日) <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象：患者と家族 (会場 計103名) ・ 内容：講義 ○ 心臓を守る親子教室 (8月26日) <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象：小中学生と保護者 (会場 計120名) ・ 内容：医療体験 ○ 公開講座：心臓弁膜症よく知ってよりよい生活を目指す (11月5日) <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象：一般市民 (会場+WEB 計1,184名) ・ 内容：講義 ○ 心臓を守るお料理教室 (11月11日) <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象：一般市民 (会場 計28名) ・ 内容：講義、料理実演、実食 ○ 心臓を守る運動教室 (12月8日) <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象：一般市民 (会場 計25名) ・ 内容：講義、運動指導 ○ 心臓を守るお薬教室 (1月20日) <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象：一般市民 (会場+web 計30名) ・ 内容：講義 ○ 公開講座：循環器病後の豊かな生活を目指してより良い生活を目指す (3月20日) <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象：一般市民 (web 計236名) ・ 内容：講義 ○ 循環器看護セミナー：計10回開催 参加者合計456名 <ul style="list-style-type: none"> ・ カテーテル治療最前線 (ストラクチャー) (6月25日、参加者 35名) ・ 先天性心疾患患児の術後管理と看護 (7月27日、WEB開催 参加者30名) ・ 心臓リハビリの最前線 (8月19日、WEB開催 参加者 50名) ・ 成人心血管外科手術の実際と術後管理 (9月9日、参加者 21名) ・ 循環器診断に必要な検査結果の診方・活かし方 (10月28日、参加者35名) ・ 大動脈解離緊急手術に対応できる手術看護師になる！ (11月16日、WEB開催 65名) ・ ハイリスク分娩 (12月21日、WEB開催57名) ・ デバイス治療と看護 (1月25日、WEB開催40名) ・ 明日から役立つ補助循環を優しく伝授 (2月15日、WEB開催66名) ・ 心不全に対する治療戦略とセルフケア支援 (3月14日、WEB開催57名)

(3) 退院調整部門

退院調整部門の有無	有・無
退院調整部門の有無概要	入院中の患者・家族と相談し、転院先の医療・介護施設、在宅に関わるケアマネジャーや訪問看護師と入院中から情報交換を行い、スムーズな退院を目指す。

(4) 地域連携を促進するための取組

地域連携クリティカルパスの策定	有・無
策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容：循環器連携パス ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組：府中市医師会を事務局とした、府中市循環器疾患連絡協議会（25施設加盟）を設置し、近隣開業医への教育とともに、循環器連携パスを普及している。

公益財団法人 榊原記念財団

病院名 附属 榊原記念病院